

新高3 春の集中学習会 教材その2

識別練習 集中講座①**最頻出**「なむ」識別20問挑戦

a..終助詞「なむ」

未然形に接続

くてほしい(他者への願望)

b..**強意の助動詞**「ぬ」未然形+**推量(意志)**助動詞「む」終止形

連用形に接続

きつとくだろう(しよう)

c..係助詞「なむ」

種々の語に接続

訳さなくても意味が通じる

d..**ナ変動詞**(死ぬ・往ぬ)活用語尾+**推量(意志)**助動詞「む」終止形

◆これで「なむ」は恐くない!...これによりて「なむ」は恐るに足らざりなむ
出題は、既習の教科書と「まぎらわしい語の識別マスター」からです。

- ① 名をば、さかきの造となむいひける。
- ② 橋を八つ渡せるによりてなむ八橋と言ひける。
- ③ 桜花散らば散らなむ散らずとて古里人の来ても見なくに
- ④ いふかひなくは思はざらなむ
- ⑤ 日ごろは山寺にまかりありきてなむ。
- ⑥ 髪もいみじく長くなりなむ。
- ⑦ 昔人は、かくいちはやきみやびをなむしける。
- ⑧ 家にも宮仕へ所にも、会はでありなむと思ふ人、
- ⑨ さあらむ所に一人往なむや。
- ⑩ いまひとたびのみゆき待たなむ
- ⑪ いづくなりともまかりなむ。
- ⑫ 十一月の月も隠れなむとすれば、
- ⑬ 山の端逃げて、入れずもあらなむ。
- ⑭ 親のあはすれども、聞かでなむありける。
- ⑮ 鳥部山 谷に煙の燃え立たば はかなく見えし 我と知らなむ
- ⑯ まめまめしきものはまさなかりなむ。
- ⑰ 母北の方なむ古の人の由あるにて、

⑱ ★いつしか梅の花咲かなむ。

⑲ ★明日には梅の花咲きなむ。

⑳ ★梅の花なむ咲く。

★のついた三つは「なむ」の識別例文として覚える！ 重要